

創立146周年



学校だより  
は南風の子

中種子町立  
南界小学校  
令和2年3月19日(木)

## 祝卒業・修了令和2年度に向かって

校長 吉留 巧

令和2年3月24日(火)6名の子供たちが南界小学校を卒業していきます。今年の卒業生は、黒木星吾さん(本村)・稲子優月さん(熊野)・提希果さん(本村)・日高陽菜さん(中田)さん・南海音さん(本村)・村川未莉さんの男子1名女子5名です。

卒業生・保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、この6年間この子供たちに支援や指導をしていただいた地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

南界小で学んだ6年間で忘れずに、中種子中学校に進学し、新しい仲間に出会い、自分を磨き、そして「夢」に向かって、一步一步努力を重ねて、夢を実現していくことを期待しています。

1年生から5年生は、25日(水)が修了式です。この1年を振り返り、自分の成長に自信をもつとともに次の学年への新しいスタートを切ってほしいと思います。

さて、この1年を振り返ると、毎日の学習や各学校行事、地域行事・少年団活動等、子供たちは様々なことに取り組みました。一日一日を子供たちなりに精一杯過ごしました。平成31年4月の子供より令和2年3月の子供は「心・技・体」共に確実に成長しています。知らず知らずのうちに毎日の積み重ねで、たくましさを増し、生きる力を身に付け、自己実現に向けて成長していくのです。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染の収束がまだみえません。令和2年3月の1か月間ほとんど休校という初めての経験をしています。地域や保護者の皆様も健康管理に十分ご留意ください。

令和元年度の本校の教育活動への御協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



〔卒業生6名〕

### 「凡事徹底をはかる」

挨拶をする、掃除をする、履物を揃える、ゴミを拾うなど、誰にでもできることをきちんと実行するという意味です。

挨拶も掃除も靴並べも、やろうと思えば誰にでもできます。この「誰にでもできること」をきちんと実行できるようにすることは、人格形成や豊かな生き方につながる重要な教育内容です。しかし、誰にでもできる「凡事」であるがゆえに、できているかどうか、見過ごされることがあるかもしれません。

子育ての答え(成果)は、遠い将来に見えてくることも多いのですが、身近な行いに見えることもあるものです。子供たちがよりよく成長してほしいと願う私たちは、まずは「凡事徹底」でいかがでしょうか。身近な行いをよりよく高め、遠い将来に生かしていけるように「当たり前前」のことをきちんとすることを大切にしたいと思います。

3月2日からの休校中、「早寝・早起き・朝ご飯」「おはよう・おやすみなさい等の挨拶」「1日3回の歯磨き」「学習の時間と遊びの区別」「夜8時以降はゲームをしない等のメディアルールを守る」などどうだったでしょうか。きちんとできることが当たり前前の内容です。

もし、お子さんが上記の内容が乱れていることがありましたら、春休み中に整えられるよう見守っていただけたらと思います。